

防災委員会防災教育ワーキンググループ報告

区民センター事業「防災セミナー ―震災に備えて―」

城戸 寛

1. はじめに

北海道支部防災委員会は、1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機に防災研究会として設立し、これまで「技術士からの提言―地震災害に備えて―」「技術士からの27の提言」を発刊、2001年度からは都市型災害に向けた防災セミナーをはじめとする講演会の開催や活動報告書の発刊等、防災減災に関する調査研究を継続しています。

2007年度からは、(社)日本技術士会北海道支部の実行委員会として新たなスタートを切り、公開セミナーの開催や「防災減災カード(地震サバイバル編)」を企画発行するなど、広く市民への情報発信や防災教育等の技術士による社会貢献に向けた取り組みにも着手してきました。

そして、2009年度からの活動体制(図-1)に「防災教育ワーキンググループ(以下、防災教育WG)」を新設し、具体的な活動を進めているところです。

- ①防災委員会の活動テーマの一つに「防災教育」を位置づけ、技術士の社会貢献事例として情報発信を行う。
- ②防災減災活動、とりわけ個々人の「自覚」に根差した自助、身近な地域コミュニティ等による「共助」を社会に広く周知するため、防災教育活動を進める。
- ③当面、各区民センター事業の「防災セミナー」を活動の場とし、防災教育プログラムの調査研究及び試行的な教育活動を実施する。

以上の防災教育WGの設置目的に沿って、これまで小規模ではありますが、「震災に備えて」と題して、下記のとおり3回の市民向け防災セミナーを開催してきました。

- 第1回 2009年8月22日(土)
清田区民センター 参加者 38名
- 第2回 2010年2月27日(土)
東区民センター 参加者 47名
- 第3回 2010年7月24日(土)
清田区民センター 参加者 17名

(各日とも午後1時30分から2時間)

メンバーは、大浦宏照(応用理学/総合技術監理部門)、小田直正(水道部門)、そして、筆者の3名でスタートしましたが、今年度から松岡直基(応用理学/総合技術監理部門)、村瀬尚久(水道部門)が加わり5名です。

本稿では、区民センター事業防災セミナー「震災に備えて」のプログラム概要、参加した市民にご協力をいただいたアンケート調査の集計結果、そして、今後の活動に向けた方向性について報告します。

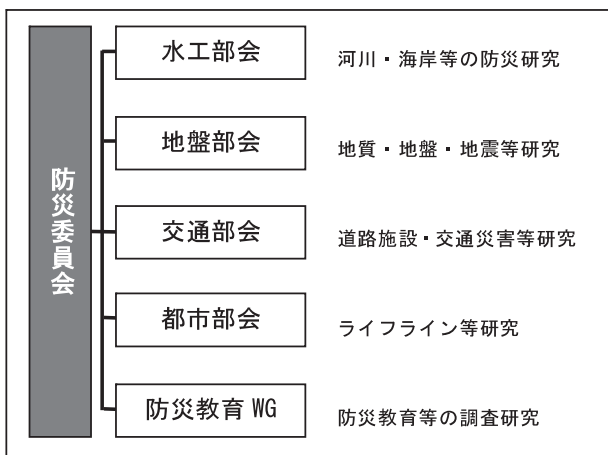


図-1 組織体制(会員数76名:2010年5月12日現在)

2. 防災セミナー「震災に備えて」の概要

防災委員会において、防災教育に関する本格的な研究の契機となったのは、2007年11月に開催した第14回防災セミナー「都市型災害に備えて—今後の災害情報と防災教育を考える—」でした。

基調講演をいただいた群馬大学の片田敏孝先生、パネルディスカッションに参加いただいた北海道大学の隈本邦彦先生、北海道教育大学の佐々木貴子先生から、広く社会に対する防災減災についての分かり易い情報発信、そして、専門家による防災教育の必要性が提案されました。

現在のプログラムは下記のとおりで、この第14回防災セミナーでの各先生の講演やディスカッションをベースに、阪神・淡路大震災の被災状況とともに、市民一人ひとりの防災減災対策のあり方、札幌市の地震被害想定や防災対策等を紹介しています。

- ①「阪神・淡路大震災」を知ろう
- ②「札幌直下型地震」が起きたら…
- ③分かりやすい「緊急地震速報」

(第3回セミナーからの新規プログラム)

- ④「各区の防災対策」について
- ⑤「防災・減災カード」を活用しよう!

(第3回セミナーからは(1)に含めている)

①の演題では、阪神・淡路大震災の概要、報道等による誤解と真の教訓について映像を交えながら紹介しつつ、「自分(達)の命は自分(達)で守る」、自助・共助の重要性を訴えています。

②の演題では、札幌市で直下型地震が起きたらどうなるのか。地震のメカニズムや過去の地震被害等



神戸市消防局撮影

国土交通省東北地方整備局撮影

写真-2 阪神・淡路大震災の被災状況

を例示し、③の演題では緊急地震速報の仕組みと活用するためのノウハウを紹介しています。

④の演題では、札幌市の防災対策と各区における具体的な防災体制や施設を紹介、地域における自主防災活動の必要性を啓発しています。

そして、⑤の演題では、防災・減災カードを配布し、その携行と活用を提案しました。



写真-1 第3回清田区会場風景



図-2 札幌直下型地震による家屋被害の状況

3. アンケートの集計結果

セミナー開催に合わせて、各区民センターにもご協力をいただきアンケート調査を実施しました。

受講者数は全体で102名に及び、回収数は99名です。男女比は表-1のとおりで、8割方男性ではありますが、ご夫婦での出席も見受けられました。

年齢構成は表-2のとおりで、70歳代以上が半数で、開催日時を土曜日の午後を設定しましたが働き盛りの受講者数はごくわずかの結果となりました。

情報の入手方法については、表-3のとおり閲覧板が半数ほどで、共助のベースとなる町内会活動に期待が持てる意外な結果となりました。

また、表-4の受講動機では、市民レベルの防災に対する関心の高さが伺える結果となりました。

セミナー内容の満足度については、図-3のとおりで、8割方の受講者から高い満足度が得られており、理解度についても、図-4のとおりほとんどの受講者の方に理解をいただけている結果となり、メンバー一同安堵しているところです。

これまで調査研究してきた防災減災に関する専門知識を平易に紹介することが概ね果たせたと評価しています。

図-5の参考になった演題についても、今回のプログラム全体を通じて強調した「自助・共助・公助」が受け止められ、今回のセミナーの最大の目標が果たせたと考えています。

一方で、「防災・減災カード」については、もう少し丁寧に説明する必要を感じています。また、3回目からの新テーマ「緊急地震速報」についても、今後の検討課題です。

表-1 セミナー受講者数及び男女構成

| 受講者数 | 回収数 | 男性 | 女性 |
|------|-----|-----|-----|
| 102名 | 99名 | 77名 | 22名 |

表-2 セミナー受講者の年齢構成

| 40代以下 | 50代 | 60代 | 70代以上 |
|-------|-----|-----|-------|
| 3名 | 14名 | 32名 | 50名 |

表-3 開催情報の入手方法(複数回答)

| 広報さっぽろ | 町内回覧 | 知人紹介 | その他 |
|--------|------|------|-----|
| 26名 | 47名 | 11名 | 19名 |

表-4 受講の動機(複数回答)

| 興味関心 | 講師魅力 | 日時都合 | その他 |
|------|------|------|-----|
| 89名 | 6名 | 17名 | 15名 |

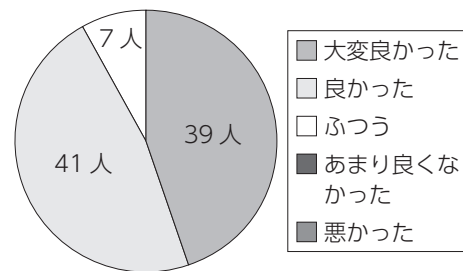


図-3 セミナー内容の満足度

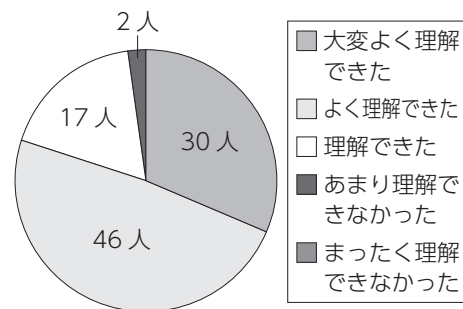


図-4 セミナー内容の理解度

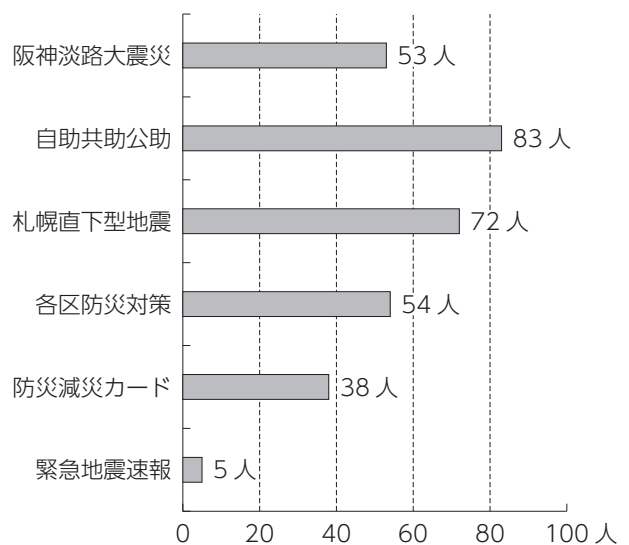


図-5 参考になった演題(複数回答)

4. 活動の方向性

セミナーに参加いただいた市民の皆様には大変熱心に聴講していただきました。講演後の質問コーナーでは、防災減災に関する具体的な議論が展開されましたし、終了後も個別の問い合わせが続き、なかなか会場を閉められない程でした。したがって、メンバー自体の満足度も高く、技術者として有意義で貴重な経験を積むことができた実感しています。

こうしたことから、区民センター事業による防災セミナーを当面継続していきたいと考えていますし、これまでは清田区と東区のみでしたが、区民センター運営会社間の連携を活用させていただくことで、全市への拡大にも期待を寄せているところです。

その場合、地区によっては地震災害よりも風水害や雪害などの防災減災対策が切実な場合も想定されますので、新たなプログラムを準備する必要があると考えています。

さらに、北海道支部の実行委員会としての観点からは、道内各市町村への展開も今後の活動の方向性として捉える必要があるでしょう。



写真-3 第3回清田区講演状況

5. おわりに

アンケートの調査項目に、技術士制度の認知度に関する項目を設けましたが、図-6のとおり、8割の受講者は知らないという結果となりました。

セミナーの冒頭で、技術士制度や技術士会について一定の説明をしなければ、我々講師の背景を受け止めてもらえないのは残念です。技術士の認知度向上は喫緊の課題だということを再認識しました。

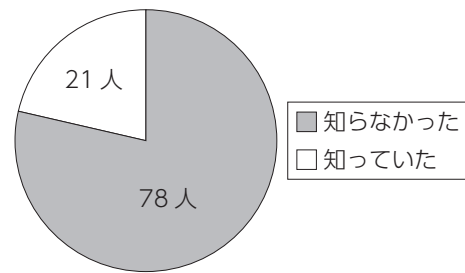


図-6 技術士制度の認知度

技術士の社会貢献は、企業におけるCSR活動とまではいかないまでも、まずもって技術士が社会から認知され、他の国家資格と同等に評価されることに繋げる活動として推進することが求められると思います。

防災教育WGの活動は、まだ始まったばかりではありますが、こうした視点からも技術士の社会貢献の一つに育っていくと確信しています。

ぜひ、一緒に取り組んでみませんか？

北海道支部の会員各位からの入会希望をお待ちしています。

(E-mail : h_kido@sapporo-dome.co.jp)

城戸 寛(きど ひろし)

技術士(建設/総合技術監理部門)

(社)日本技術士会北海道支部
 防災委員会副委員長
 株式会社札幌ドーム 常務取締役事業本部長

